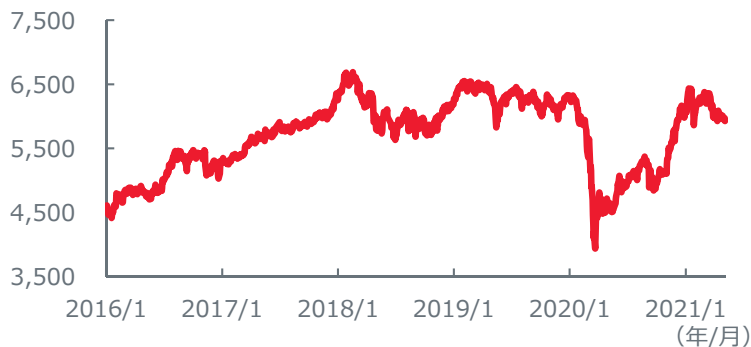


(対象期間：2021/4/26～2021/5/7)

**【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移
(2016年1月4日～2021年5月7日)**

(ポイント)

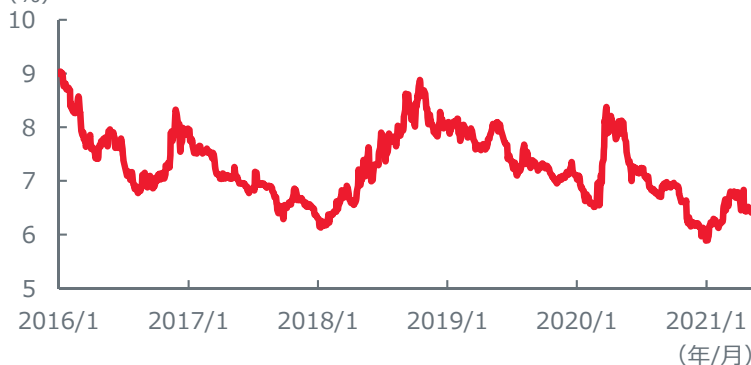

【株式市場】

4月26日の週は大手銀行株に外国人投資家の売りが見られインドネシア株式市場は下落して始まりました。株式市場全体が弱含みとなり、その後は今後本格化する決算発表を前にして様子見姿勢となりました。週末にかけては外国人投資家の売りが収まったことや石炭株の堅調を受けて上昇する場面もありましたが、5月月初は石炭会社等の決算の悪化等を受けて下落しました。5日発表の1-3月期の国内総生産(GDP)は前年比0.74%減と4期連続のマイナス成長となりましたが、市場への影響は限定的でした。株式市場は前々週末比下落しました。

2021/4/23	2021/5/7	変化率
6,016.86	5,928.31	-1.47%

**【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移
(2016年1月1日～2021年5月7日)**

(%)

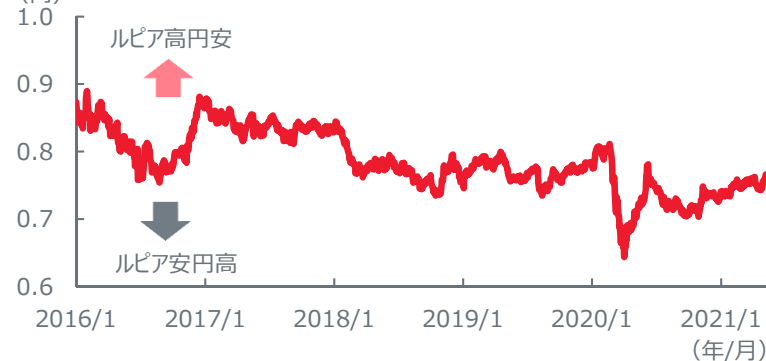

【債券市場】

4月27日の国債入札では短期債を中心に外国人投資家による積極的な応札が見られ好調となりましたが、米連邦公開市場委員会(FOMC)を前にして慎重姿勢が強まり、インドネシア10年国債利回りは上昇(価格は下落)しました。FOMCの声明では、強い金融緩和政策を維持する姿勢が示されたことからインドネシア10年国債利回りは低下に転じました。5月4日のイスラム国債の入札でも投資家の需要の回復が見られ債券市場には安心感が広がり、利回りはさらに低下しました。利回りは前々週末比低下しました。

2021/4/23	2021/5/7	変化幅
6.435	6.411	-0.024

**【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移
(2016年1月1日～2021年5月7日)**

(円)



100インドネシアルピアの対円レート

【為替市場】

ルピアは前々週末比対米ドル、対円ともに上昇しました。4月26日の週はFOMCを前にして、米国債利回りが上昇したことからルピアは狭いレンジの中で上値の重い展開となりました。しかし、FOMCの結果を受けて米国債利回りが低下に転じたことや、インドネシア国債への外国人投資家からの資金流入などを背景にルピアは堅調となりました。対円ではFOMCの結果を受けてリスクオン姿勢が強まったことから円安傾向が強まり、ルピアは上昇しました。

2021/4/23	2021/5/7	変化率
0.7428	0.7658	+3.10%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。

英国ブルーデンシャル・グループ

210510 (05)